

エコアクション21
環境経営レポート
2023年度版



令和6年11月13日

(対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

株式会社やぶうち商会

1. 事業活動の概要

1) 会社設立年月・事業者名及び代表者名

- ・ 会社設立年月日 1972年7月
- ・ 事業者名 株式会社やぶうち商会
- ・ 代表者名 代表取締役 飯倉 清博

2) 所在地

- ・ 富山県富山市水橋金尾新140番地13
- ・ 準工業地帯

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

- ① 環境管理責任者 専務取締役 藪内 朋子
- ② 環境担当事務局 総務部 瀬戸 一郎
- ③ 連絡先 TEL076-478-5555 FAX076-478-5558

4) 事業内容

- ① 塗料、塗装機器及び溶剤の販売
- ② 塗料調色
- ③ カッティングシートの加工及び販売
- ④ 廃シンナーのリサイクル
- ⑤ 塗装ブースの凝集剤製造販売、掃除機製造販売、メンテナンスサービス
- ⑥ 化粧品製造及び販売業

5) 許可の内容

- ① 産業廃棄物収集運搬業（富山県）許可番号 01608132287

許可年月日 平成29年1月25日

有効年月日 令和9年1月24日

事業の範囲 収集運搬（積替え・保管を除く）汚泥・プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物であるものを除き、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）（以上2種類）

- ② 産業廃棄物収集運搬業（富山市）許可番号 08518192287

許可年月日 平成29年1月25日

有効年月日 令和9年1月24日

事業の範囲 収集運搬（積替え・保管を含む）汚泥・プラスチック類（これらのうち石綿含有産業廃棄物であるものを除き、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）（以上2種類）

- ③ 特別管理産業廃棄物収集運搬業（富山県）許可番号 01658132287

許可年月日 平成29年1月25日

有効年月日 令和9年1月24日

事業の範囲 収集運搬（積替え・保管を除く）廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限る。特定有害産業廃棄物であるものを除く。）（以上1種類）

④ 特別管理産業廃棄物収集運搬業（富山市）許可番号 08568192287

許可年月日 平成29年1月25日

有効年月日 令和9年1月24日

事業の範囲 収集運搬（積替え・保管を含む）廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限る。特定有害産業廃棄物であるものを除く。）（以上1種類）

6) 施設等の状況

・収集運搬車両

車両の種類：キャブオーバー 積載量：2000kg 4台

キャブオーバー 積載量：1400kg 1台

・積替え保管施設

保管する産業廃棄物	汚泥
面積(m ²)	1.2m×1.2m×1パレット=1.44m ²
容量(m ³)保管の上限	0.21m ³ ×ドラム4本分=0.84m ³
保管の高さ	89cm

保管する産業廃棄物	廃油
面積(m ²)	1.2m×1.2m×1パレット=1.44m ²
容量(m ³)保管の上限	0.21m ³ ×ドラム4本分=0.84m ³
保管の高さ	89cm

7) 処理実績 無し

8) 事業の規模

- ① 売上高 147,991万円 (令和5年事業年度)
- ② 資本金 2,000万円
- ③ 従業員(役員含) 30人
- ④ 敷地 3,639.09㎡ (自社所有)

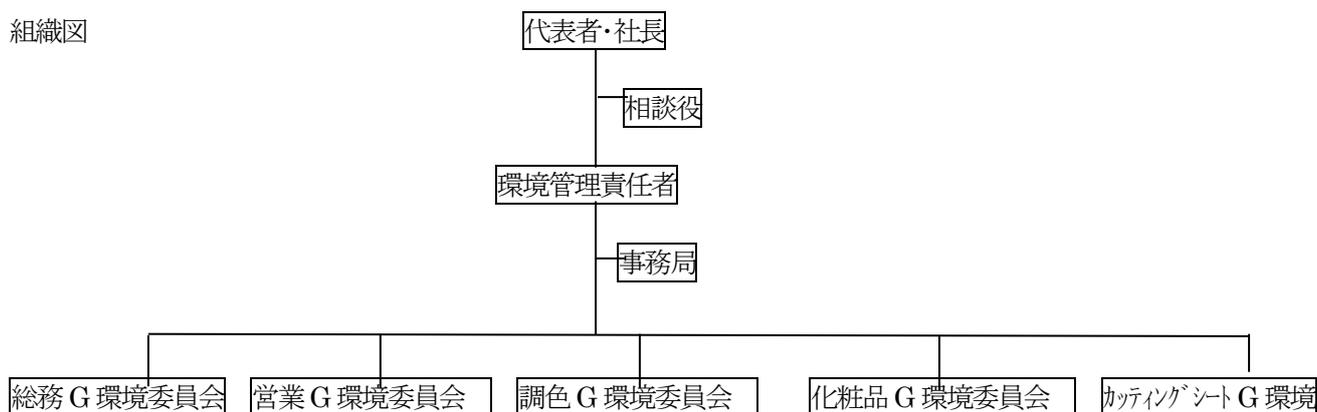
活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
主要製品生産量	t	329	260	446
売上高	百万円	1,195	1,083	1,479
従業員(役員含)	人	29	27	28
床面積	m ²	823	823	823

9) 認証範囲について

2023年度は、建設業の活動範囲が入っておらず、段階的認証(1年目)として活動をすすめております。2025年度を目途に全活動の建設業者向けガイドラインに従って活動を進めて行く予定です。

10) 環境活動に関わる実施体制

組織図



委員会

2) 管理項目

- 総務グループ・・・紙類、電気、水、一般廃棄物、環境美化、産業廃棄物
- 営業グループ・・・ガソリン、軽油、電気、環境美化、一般廃棄物、産業廃棄物、水、化学物質
- 調色グループ・・・電気、環境美化、産業廃棄物、一般廃棄物、水、化学物質
- ファンタックグループ・・・ガソリン、軽油、紙類、一般廃棄物、電気、環境美化、産業廃棄物、水

3) 役割、責任、権限の内容

- ①代表者である社長は、環境方針を策定し、全体活動に関わる指示を行う。
- ②環境管理責任者は専務が努める。
- ③社内を5つのグループに分け、環境委員会の委員を構成する。

- ④正副環境推進委員長は、持ち場の管理項目の削減方法についてグループ員と討議し、問題点と取り組み内容をとりまとめ、進捗について管理する。
- ⑤ 推進委員長は毎月初め、取り組み結果を集計し、データ入力担当に渡す。
- ⑥ 境管理責任者は隔月に環境推進委員会を開催し、進捗をチェックし、進行が遅い場合は対策を討議する。
- ⑦ 事務局は各種データを入力し正副環境推進委員長に配布する。
- ⑧ 環境管理責任者は毎月の取り組み結果を社長に報告する。
- ⑨ 社長は、報告を基に評価し、見直し必要な指示を行う。
- ⑩ 項目ごとの責任と権限は下記の表のとおりとする。

責任者	役割と権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を策定する。 ・エコアクション21の実行に必要な資源（人・物・金）を用意する。 ・エコアクション21の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行う。
専務（環境管理責任者）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築し維持する。 ・環境経営システムの構築・運用状況を社長に報告する。 ・環境活動レポートを取りまとめる。 ・環境管理推進委員会を隔月に開催する。
環境推進委員長 環境推進副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・隔月の環境管理推進委員会に参加し実施状況の確認と必要な措置を検討する。 ・全体的な見直しのために必要なデータを集計し、専務に報告する。 ・自グループの環境教育を推進する。 ・自グループの環境活動計画の具体的な取り組み内容を実践し推進する。
環境委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自グループの環境活動計画の具体的な取り組み内容を実践する。

2024年11月13日更新

2. 環境経営方針

【経営理念】

株式会社やぶうち商会は、主に塗料関連事業の商社として、お客様に感謝されるサービスに取り組んでおります。そのような中でも 21 世紀の最大の課題である環境問題にも目を向け、未来にきれいな地球を残せるよう塗料関連事業の立場から環境活動を推進したいと思います。有機溶剤などの環境負荷物質（化学物質）排出抑制への努力とリサイクル活動をはじめ、環境対応商品販売促進への積極的な取り組みを通じ、社会に貢献したいと思います。また、自社内での環境負荷要素を見直し、資源の有効活用やエネルギーの削減に取り組めます。

【基本方針】

株式会社やぶうち商会は、塗料販売・塗装機器販売・カッティングシール加工販売及び施工・化粧品製造販売の営業活動のなかで、環境保全に配慮した環境マネジメントシステムを自主的かつ積極的に推進する。

1. 社の活動、製品、サービスがかかわる環境負荷とその影響を認識し、環境保全と環境汚染の防止に努める。
2. 基本方針遂行にあたり、関連法規の要求事項、著しい環境負荷を考慮し、環境目標を設定、取り組み、実行し、定期的に見直しを図りつつ、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努める。
3. 環境関連法規、規制、協定を遵守し技術的に可能な範囲で環境保全に取り組む。
4. 環境マネジメントシステムの遂行において、環境負荷の抑制にあたり以下の課題を重点的に取り組む。
 - (ア) CO₂ ガス排出量の削減⇒石化燃料(軽油、ガソリン)及び電気使用量の削減
 - (イ) 産業廃棄物の削減または有効利用
 - (ウ) 上水の使用量の削減
 - (エ) 環境負荷物質（化学物質）排出量の削減
 - (オ) グリーン商品の購入を促進
 - (カ) 工場内外の環境美化に取り組む
5. 環境問題対策に関わる商品の販売や商品開発に積極的な態度で取り組む。
6. 環境方針は、全従業員に教育訓練を通じて周知徹底させるとともに、取引先及び社外一般の人にも理解と協力を求める。

平成 20 年（2008 年）6 月 1 日制定
令和 6 年（2024 年）11 月 13 日改訂
富山県富山市水橋金尾新 140 番地 13
株式会社やぶうち商会
代表取締役 飯 倉 清 博

3. 取り組み項目に対する過去の実績と環境経営目標

1) 過去3年間の実績値

2021年度～2023年度（年度は4月1日から翌年3月31日）の実績値は下記表の通りである。

①電力

2021年度	2022年度	2023年度
50,476.0kwh	48,983.0kwh	52,349kwh

②LPG

2021年度	2022年度	2023年度
813.7 m ³	609.1 m ³	544.2 m ³

③灯油

2021年度	2022年度	2023年度
4,260L	3,735L	3,350L

④自動車燃料

燃料の種類	2021年度	2022年度	2023年度
軽油	18,469.52L	18,080.67L	16,197.73L
ガソリン	14,592.24L	14,601.05L	15,236.96L

⑤ 二酸化炭素総排出量 ※電力の二酸化炭素排出係数は、0.481を使用した。

2021年度	2022年度	2023年度
130,678.49kg-Co2	125,478.5kg-Co2	112,286.36kg-Co2

⑥ 産業廃棄物

2021年度	2022年度	2023年度
3.73t	2.18t	3.84t

⑦ 一般廃棄物

2021年度	2022年度	2023年度
4.916 t	3.868 t	3.950 t

⑧ 水道・工業用水

種類	2021年度	2022年度	2023年度
上水道	414 m ³	447 m ³	421 m ³
工業用水	443 m ³	15 m ³	58 m ³

⑨ 化学物質

種類	2021 年度	2022 年度	2023 年度
廃シナー回収	299,000L	281,000L	311,600L
再生シナー販売	317,825L	318,890L	331,413L

2) 環境経営目標 (2023-26 年度)

2023 年度以降は、基準年度を 2021 年度とし、2026 年度までには目標 4%減を目指し、資源・エネルギー・廃棄物・水の削減を目指します。化学物質に関しては、営業活動を通じ、顧客にキシレンやトルエンフリー等の化学物質低減商品を積極的に推奨するものとし、廃シナーの回収、再生シナーの販売促進 1%増/年、2026 年度までには目標 4%増を目指します。

① 電力目標 (1kWh に係数 0.497 を乗じ kg-Co2 とする。小数点以下切捨て)

2021 年度実績	2023 年度目標	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
50,476kWh	49,971kWh	49,446kWh	48,961kWh	48,456kWh
25,086(kg-CO2)	24,835(kg-CO2)	24,584(kg-CO2)	24,333(kg-CO2)	24,082 (kg-CO2)

② L P G (1 m³=2.07kg 1kg に係数 0.0598 を乗じ、単位発熱量 50.2(MJ/kg)を乗じ kg-Co2 とする。小数点第 2 位以下切捨て)

2021 年度実績	2023 年度目標	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
813.7 m ³	805.5 m ³	797.4 m ³	789.2 m ³	781.1 m ³
1,684.3kg	1,667.3kg	1,650.6kg	1,633.7kg	1,616.9kg
5,052.9(kg-CO2)	5,001.9(kg-CO2)	4,952.0(kg-CO2)	4,901.3(kg-CO2)	4,850.7(kg-CO2)

③ 灯油(1L に係数 0.0679 を乗じ、単位発熱量 36.7(MJ/kg)を乗じ kg-Co2 とする 小数点第 2 位以下切捨て)

2021 年度実績	2023 年度目標	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
3,744 L	3,706L	3,669L	3,631L	3,594L
9,041.7(kg-CO2)	8,949.9(kg-CO2)	8,860.5(kg-CO2)	8,770.4(kg-CO2)	8,680.0(kg-CO2)

④自動車燃料 (ガソリン 1 L に係数 0.0671 を乗じ、単位発熱量 34.6(MJ/kg)を乗じ、軽油 1 L に係数 0.0687 乗じ、単位発熱量 38.2(MJ/kg)を乗じ kg-Co2 とする)

種類	2021 年度実績	2023 年度目標	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
軽油	17,917.15L	17,737.97L	17,558.80 L	17,379.63 L	17,200.4 L
	47,020.4(kg-CO2)	46,550.2(kg-CO2)	46,080.0(kg-CO2)	45,609.8(kg-CO2)	45,139.5(kg-CO2)
ガソリン	16,524.86L	16,359.61 L	16,194.36 L	16,029.11 L	15,863.86 L
	38,365.0(kg-CO2)	37,981.3(kg-CO2)	37,597.7(kg-CO2)	37,214.0(kg-CO2)	36,830.4(kg-CO2)

④ 産業廃棄物

種類	2021 年度実績	2023 年度目標	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
廃プラ	1,478.4kg	1,463.6kg	1,448.8kg	1,434.0kg	1,419.2kg
その他	2,275.2kg	2,252.4kg	2,229.6kg	2,206.9kg	2,184.1kg

⑤ 一般廃棄物

種類	2021 年度実績	2023 年度目標	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
ダンボール	3,408.0 kg	3,373.9kg	3,339.8kg	3,305.7kg	3,271.6kg
雑ゴミ	343.8kg	340.3kg	336.9kg	333.4kg	330.0kg

⑥ 水道水・工業用水

種類	2021 年度実績	2023 年度目標	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
水道	434.8 m ³	430.4 m ³	426.1 m ³	421.7 m ³	417.4 m ³
工業用水	9.6 m ³	9.5 m ³	9.4 m ³	9.3 m ³	9.2 m ³

⑦ 化学物質

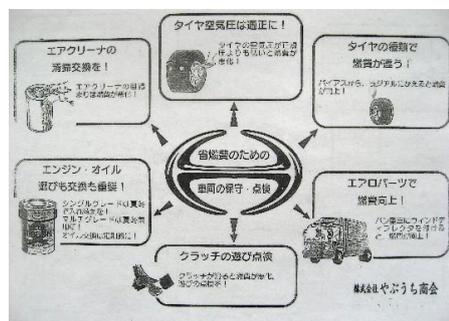
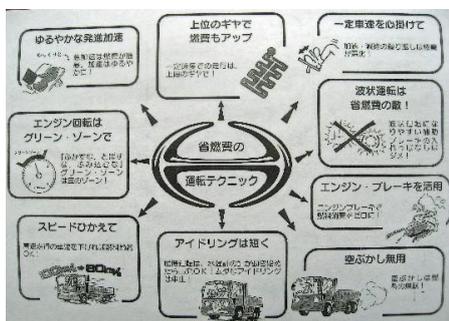
種類	2021 年度実績	2023 年度目標	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
廃シナー回収	299,000 L	301,990L	304,980L	307,970L	310,960L
再生シナー販売	317,825L	321,003L	324,181L	327,359L	330,538L

4. 主要な環境活動計画の内容

1) CO₂ガス排出抑制（軽油、ガソリン、LPG、灯油、電気使用量について）

(1)自動車燃料の削減（軽油・ガソリン）

① アイドリングストップの実施と急加速・急停車の防止のため、環境教育の一環として、エコドライブへの理解を促進し、エコドライブの資料を全運搬用車両と営業車に設置した。



- ② 適正な車両整備を図るため、担当する車両の車両整備
チェックシートを設置した。

平成20年1月
運行前点検チェックシート

①毎日、運行前に下記の箇所を点検しましょう！

点検箇所	点検項目
ブレーキペダル	踏みしろ
	ブレーキのきき具合
サイドブレーキ	引きしろ
点検装置	指示・点検具合
方向指示器	汚れ・損傷
タイヤ	空気圧
	亀裂・損傷
	異常な摩耗

②1月に1度点検しましょう！

点検箇所	点検項目
エンジン	かかり具合・異音
	低速・加速の状況
ウインドウワッシャ	凍結・凍結の状況
ワイパー	凍結取りの状況
ウインドウワッシャ液	液量
バッテリー	液量
冷却装置	水量
潤滑装置	エンジンオイルの量
ファンベルト	張り具合
タイヤ	溝の深さ

- ③ 運搬用車両の1台にエンジン自動停止装置を
装着した。



- ④ 毎月末、社用車のエコドライブ取組状況を評価するため、担当者
走行距離・燃料使用量・平均燃費を右図のように報告する
ことにした。

エコドライブ取組状況

車番(多摩電) 26-93

走行距離	燃料使用量	平均燃費		
10/20				
20	14,931.5	235.08	7.576	2195
30	19,797.0	257.9	7.676	2244
40	15,913.3	248.0	7.052	2091
50	15,733.4	205.5	11.112	2941
60	16,310.9	363.08	14.886	3760
70	16,607.0	315.31	9.96	2970
80	16,909.8	211.55	9.55	2970
90	17,200.0	228.25	11.47	2780
100	17,460	196.53	11.88	2760
110	17,621	271.2	8.33	221
120				
130				
140				
150				
160				
170				
180				
190				
200				
210				
220				
230				
240				
250				
260				
270				
280				
290				
300				
310				
320				
330				
340				
350				
360				
370				
380				
390				
400				
410				
420				
430				
440				
450				
460				
470				
480				
490				
500				
510				
520				
530				
540				
550				
560				
570				
580				
590				
600				
610				
620				
630				
640				
650				
660				
670				
680				
690				
700				
710				
720				
730				
740				
750				
760				
770				
780				
790				
800				
810				
820				
830				
840				
850				
860				
870				
880				
890				
900				
910				
920				
930				
940				
950				
960				
970				
980				
990				
1000				

(2)電力の削減

- ① 朝のミーティング時に、削減目標の説明周知をはかった。

- ② 節電や不要照明の消灯を
呼びかけるとともに、電源
や照明スイッチには「節電」
シールを貼り節電運動を
展開した。



- ③ 蛍光灯は省エネ型のものに取り替えた。

- ④ 照明器具を省エネ型に取り替えた。

- ⑤ 照明の入り切りは、1箇所の
電源に集中させていたが、
照明器具1個1個にスイッチ
紐を付け、こまめに節電で
きる工夫をした。



- ⑥ クールビズとウォームビズを呼びかけた。

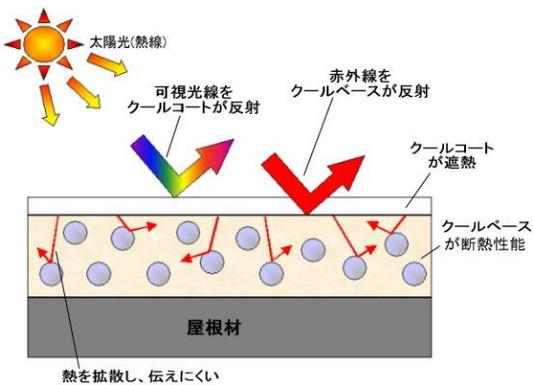
- ⑦ 冷房 28 度、暖房 20 度設定を呼びかけるとともに、冷暖房の温度設定パネルには「冷房 28 度・暖房 20

度設定」シールを貼った。

- ⑧ アルミサッシの室内側に樹脂性断熱サッシを設置した。
- ⑨ 会社建物の屋根には、高遮熱高断熱塗材を施工した。



シラスパルレーンを主剤にした 厚膜型 遮熱断熱塗材
商品名【シポテックス】絶賛！販売施工中



◎夏の太陽熱を遮断し、
冷房の使用量を削減◎
☆断熱効果で冬の暖房も逃がさない☆

- ⑩ エアコンの室外機に屋根をつけた。



(3) LPG使用量の削減

- ①削減目標の説明周知 ②節約運動展開 ③冷房28度、暖房20度設定
- ④クールビズ・ウォームビズ運動 ⑤エアコン室外機に屋根を付ける

(4) 灯油使用量の削減

- ①削減目標の説明周知 ②節約運動展開 ③ウォームビズ運動
- ④暖房20度設定

2) 廃棄物の削減(産業廃棄物、一般廃棄物について)

- ① 廃棄物再利用 (コピー用紙裏使用推進等)
- ② 分別回収・計量と記録をした。



- ③ リサイクルの開拓
- ④ シュレッダーゴミと古新聞・ダンボールは
梱包資材として活用
- ⑤ 鉄くずは、鉄資源として活用
- ⑥ 廃プラスチックは、分別して固形燃料資源
に活用
- ⑦ 封筒の再利用
- ⑧ エコキャップ運動に参加



ペットボトルのキャップを集め、エコキャップ運動に参加。

3) 水使用量の削減

- ①節水の呼びかけ ②節水弁の取り付け ③設備の点検

4) 環境美化・環境教育訓練活動

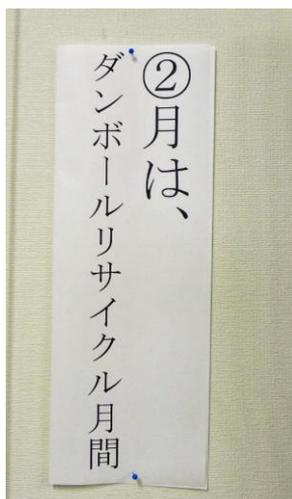
- ① 毎月1回、社内、構内、花壇、駐車場等の環境美化活動を実施する。
- ② 毎週1回の朝礼の時間を活用し、環境関連教育を実施する。
- ③ 年2回程度の消防訓練を実施する。

- ④ 環境対応型商品のための勉強会を実施する。
- ⑤ エコアクション21活動掲示板を設置。



⑥ アクション2 1 月間テーマを設定。

- 4月 エコドライブ月間
- 5月 節電月間
- 6月 分別月間
- 7月 クールビズ月間
- 8月 美化月間
- 9月 節水月間
- 10月 防災月間
- 11月 整理整頓月間
- 12月 設備点検月間
- 1月 ウォームビズ月間
- 2月 ダンボールリサイクル月間
- 3月 紙リサイクル月間



5) その他

①車両や名刺へのエコアクション21 認証・登録マーク表示した。



②環境対策商品を積極的に販売活動

- (1) 遮熱断熱塗材【シポテックス】の商品化と販売・施工事業の展開。
- (2) 廃シンナーを回収し、リサイクルする事業の展開。



工場から排出される廃シンナーを → リサイクル → 蒸留再生された洗浄用シンナーに

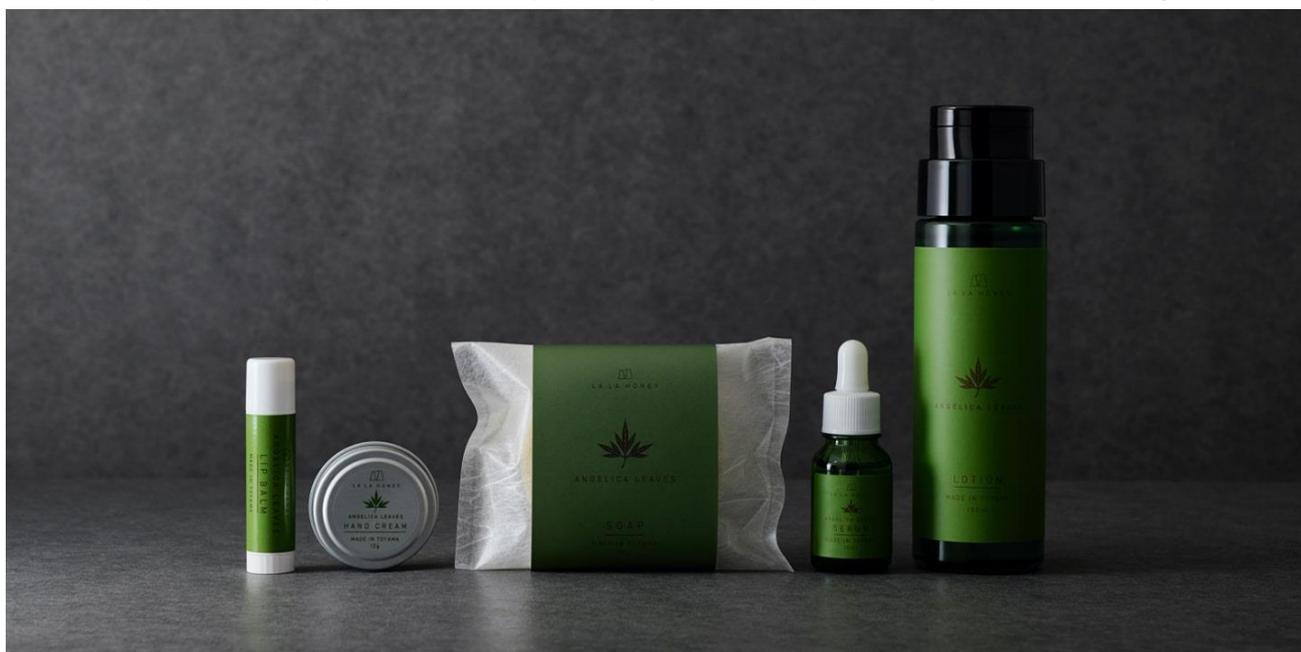
(3) 自社化粧品ブランドLALAHONEYは、薬の富山を支える薬用植物生産農家とタイアップし、富山県産のトウキ葉エキスを使った新しいご当地 (Made in TOYAMA) コスメを企画・製造・販売しています。安価な外国産の漢方薬原料が輸入され、国内生産が減っている中、手間はかかるが高値がつかない薬用植物を国内で持続的に生産していくために、これまでは破棄されてきた当帰の葉を有効利用し、付加価値をつけた商品を企画し、発売することで農家を支援しています。

トウキとは？

昔から薬用として栽培される芳香性のあるセリ科の多年草植物です。当帰芍薬散という漢方薬が有名で、根を乾燥させたものを使います。ただ近年、トウキの”葉”も注目を集めています。ビタミンやミネラルなどさまざまな栄養分が豊富に含まれていることが分かってきました。

Made in TOYAMA のトウキ

薬の富山と言われるほど、医薬品産業が盛んな富山県。連峰（北アルプス）の豊富な水資源と、寒暖の程良い気候に恵まれ、多品種の薬用植物の栽培がされています。その一つが漢方薬の原料である「当帰（トウキ）」です。トウキは漢方薬として富山の薬には欠かせない原料として現在まで受け継いできた貴重な植物なのです。



5. 環境活動の取り組み結果と評価

令和5年4月1日～令和6年3月31日の期間目標を設定し、取り組み内容に従って取り組んできた結果と評価は下記の通りである。

① 電気 (係数 0.481)

R4.4-R5.3 実績	R5.4-R6.3 目標	R5.4-R6.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
50,476kWh	1%減	52,349.kWh	104.7%
	49,971kWh		×
24,278(kg-CO2)	1%減	25,179(kg-CO2)	
	24,035(kg-CO2)		

② LPG 1 m³=2.07kg 係数 0.0598 単位発熱量 50.2 =6.2140572

R4.4-R5.3 実績	R5.4-R6.3 目標	R5.4-R6.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
813.7 m ³	1%減	541.7 m ³	67.2%
	805.5 m ³		○
5,056.3(kg-CO2)	1%減	3,366.1(kg-CO2)	
	5,005.4(kg-CO2)		

③ 灯油係数 0.0679 単位発熱量 36.7 =2.49193

R4.4-R5.3 実績	R5.4-R6.3 目標	R5.4-R6.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
3,744L	1%減	3,350L	90.3%
	3706.5L		○
9,329.7(kg-CO2)	1%減	8,347.9(kg-CO2)	
	9,236.4(kg-CO2)		

④ -1 自動車燃料(軽油)

R4.4-R5.3 実績	R4.4-R5.3 目標	R4.4-R5.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
17,917.1L	1%減	16,197.7L	91.3%
	17,737.9L		○

⑤ -2 自動車燃料(ガソリン)

R4.4-R5.3 実績	R4.4-R5.3 目標	R4.4-R5.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
16,524.8L	1%減	15,236.9L	93.1%
	16,359.5L		○

⑥ 産業廃棄物(廃プラ・その他)

R4.4-R5.3 実績	R4.4-R5.3 目標	R4.4-R5.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
3,753.6kg	1%減	3,840kg	103.3%
	3,716.0kg		×

⑦ 一般廃棄物(ダンボール・新聞紙・雑ゴミ等)

R4.4-R5.3 実績	R4.4-R5.3 目標	R4.4-R5.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
4271.9kg	1%減	3,950kg	93.4%
	4,229.1kg		○

⑧ 上水道

R4.4-R5.3 実績	R4.4-R5.3 目標	R4.4-R5.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
434.8 m ³	1%減	421 m ³	97.8%
	430.4 m ³		○

⑨ 工業用水

R4.4-R5.3 実績	R4.4-R5.3 目標	R4.4-R5.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
9.6 m ³	1%減	58 m ³	610%
	9.5 m ³		×

⑩ -1 化学物質 廃シンナー回収

R4.4-R5.3 実績	R4.4-R5.3 目標	R4.4-R5.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
299,000L	1%増	311,600L	103.1%
	301,990L		○

⑪-2 化学物質 再生シンナー販売

R4.4-R5.3 実績	R4.4-R5.3 目標	R4.4-R5.3 実績	総数対比(実績/目標) 取組結果
317,825L	1%増	331,413L	103%
	321,003L		○

2) 評価

① ガソリン・軽油の使用量

ガソリンは、昨年度に引き続き目標の 93.1%の使用量で目標を達成できた。軽油についても目標の 91.3%の使用量で目標達成した。最近では経済活動も復活している傾向があるので、営業活動や配達の効率化を図る必要がある。引き続き、トラック等での配達経路の効率化、配送商品のメーカー直送を推進し、エコドライブの再教育を計画し、一人一人が努力するよう周知していきたい。

① 灯油・電気・LPGの使用量

LPGの使用量が目標値の 67.2%、灯油の使用量が 90.3%で共に目標を達成できた。電気については目標の 104.7%と若干使用量が多く目標は達成できなかったもの、酷暑の中、適切に冷房を使用した成果であったと思う。電気料金の値上がり等で益々経費上昇が懸念されるため、継続して、節電について見直しをするとともに、省エネ意識を周知徹底したい。

⑫ 産業廃棄物について

産業廃棄物は、目標の 103.3%ともう少しで達成できた。今後はゴミの分別や排出抑制の呼びかけ、廃棄物の排出の削減の努力を継続していきたい。

⑬ 一般廃棄物について

一般廃棄物は、分別することで、新聞紙・再生用紙、ダンボールはリサイクル資源となっている。シュレッダーゴミを梱包用資材として活用したり、ダンボールをできるだけ再利用し努力している。努力と周知ができたことで、廃棄量は目標の 93.4%と達成できた。

⑭ 水道の使用量について

工業用水の使用量は目標の 610%と大きな使用量があった。上水道が使えない期間に代替として使用したり、2月の降雪際に融雪に使用したためだと推測する。上水の使用量は、97.8%と目標を達成できた。今後も節水呼びかけをすることで、使用量を減らすことができるように努力をしたい。

⑮ 教育訓練について

毎週月曜日朝のミーティング時間を使っての環境教育で、環境方針を従業員にも周知している。毎月のエコアクション21のテーマも浸透してきた。しかし、なかなか目標を達成することが出来ていない。環境についての勉強会を開催したり、月1度の環境美化活動を通して、みんなの環境意識向上を再度認識してもらおう工夫をしたい。また、2024年1月1日に発生した能登半島地震で、危機管理意識も高まった。防錆訓練や消防訓練の実施により、危機管理について再認識し、消火の手順や役割について実践を通して確認できた。そのほかにも、環境対応型商品知識を得るとともに、お客様にもその商品を紹介できるようになってきており、商品の売上げも上がってきている。

特に、屋根に塗るだけで熱を遮断し、断熱と保温効果の高い、高遮熱高断熱塗材は、好評である。さらに広く販売展開し、施工することで、冷暖房の使用削減につなげ、地球温暖化抑制へ貢献していきたい。

⑩ 化学物質の削減

日常の営業活動を通して、環境負荷物質が少ない商品の販売促進に努力してきた。経済活動が活発に推移している後押しもあり、成果を上げることができた。経済活動が回復傾向にあり、少しずつ廃シンナー回収量・再生シンナーの販売量も増加している。溶剤のリサイクルの営業活動を今後活発にしていきたい。

3) 次年度の取り組み内容

2021年度の実績を基準年度とし、**2024年度は2021年度の-2%削減を目指す。**

① 電力の削減 (2021年度基準年 50,476kwh 2024年度目標 49,446kwh)

電力削減目標説明周知・節電運動展開・不要照明の消灯・クールビズ・ウォームビズ運動・冷房28度・暖房20度設定・定期電気機器の点検・メンテナンス・グリーンカーテン設置

② 自動車燃料の削減(2021年度基準年 軽油 17,917.15L・ガソリン 16,524.86L 2024年度目標 軽油 17,558.80L・ガソリン 16,194.36L)

エコドライブの実施・アイドリングストップ実施・急加速・急停車の防止・適正な車両整備・エコカーの導入

③ LPGの削減 (2021年度基準年 813.7 m³ 2024年度目標 797.4 m³)

削減目標の周知・節約運動展開・クールビズ・ウォームビズ運動・冷房28度・暖房20度設定・定期的機器の点検・メンテナンス・グリーンカーテン設置

④ 灯油の削減 (2021年度基準年 3,774L 2024年度目標 3,669L)

削減目標の周知・節約運動展開・ウォームビズ運動・暖房20度設定

⑤ 産業廃棄物(鉄くず・ガラス・プラスチック類・他)の削減 (2021年度基準年 3,753.6kg 2024年度目標 3,678.50kg)

廃棄物削減目標説明・社内での再利用・分別回収・リサイクル先の開拓

⑥ 一般廃棄物の削減 (2021年度基準年 4,271.9kg 2024年度目標 4,185.5kg)

廃棄物の分別と計量をする・社内での再利用・リサイクル先の開拓・裏紙使用の推進

⑦ 水道水・工業用水の削減 (2021年度基準年 443.6 m³ 2024年度目標 434.7 m³)

水道水・工業用水削減目標の周知・節水の呼びかけ・節水弁の取り付け

⑧ 化学物質の削減 (2021年度基準年 廃シンナー回収 299,000L・再生シンナー販売 317,825L 2024年度目標 廃シンナー回収 304,980L・再生シンナー販売 324,181L)

環境負荷物質の低減された商品の販売促進・廃シンナー回収

6. 関連法規への違反、起訴等の有無

当社に関連する法規について社内でチェックした結果、環境関連法規の違反はありませんでした。また地域住民からの苦情もありませんでした。同様に関係機関からの指摘及び訴訟は過去3年間ありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直し

2024年度は、エコアクション21の登録・認証を受けてから17年目となります。今年は7月1日に会社創立52周年を迎えることもでき、一昨年7月2日には、富山県SDGs宣言をいたしました。エコアクション21の環境経営システムを継続し、更なる躍進を図りたいと思っております。環境に対する意識が高くなり、従業員一人一人が日常的に取り組むようになりました。節電やクールビズ・ウォームビズに積極的に取り組みし、ほとんどの項目目標を達成することができました。達成できない項目もありましたが、もう少しの努力で達成できそうなレベルでした。エコドライブの推進により、ガソリンの使用量が削減され、大きな効果をあげました。ブリキ缶の資源化により、産業廃棄物削減に貢献できています。

また、電気・ガス等、日常使用する光熱費の値段が高騰しており、使用量は努力で削減できましたが、経費は高騰傾向です。設備を更新する際には、計画的に省エネ型の設備となるような配慮をしております。また、継続的に節電・クールビズ・ウォームビズを推進し電気・LPG・灯油の使用量の削減に努めていかなければなりません。経済が回復傾向にあり、顧客の要望も高まってきており、配送量が多くなるとトラックやフォークリフトの軽油使用量が増加することは止む終えませんが、効率の良い配達ルート検証やメーカー直送などの工夫をし、一層のエコドライブを心がけるようにする必要があります。産業廃棄物や一般廃棄物は、分別とリサイクルに心がけ、排出量をもっと少なくならないかについて検討が必要です。水資源に対しても、節水を心がけ、削減に取り組んでいく所存です。

2011年度より化粧品製造事業部が稼働し、薬の富山が育む薬用植物などの地域資源を活用した商品が好評を得ています。ここ数年は、予期せぬ自然災害、紛争、コロナウィルスの世界的流行などがあり、厳しい経営状況になってきております。消費動向の変化と社会情勢が著しく変化しています。刻一刻と変化する社会情勢を鑑みつつ、継続的に会社が健全経営することが現在一番の重要課題です。エコアクション21の活動も経営難を乗り越える手段として活用しております。

2024年度のエコアクションは、2021年度の実績を基準に目標を立て、3年間の中期目標を再設定し2年目の初年度です。継続的に目標達成に努力するとともに環境負荷を低減できる活動を推進していきたいと思っております。2024年度においても、各種活動の計画実施と環境目標達成を目指し、活動を展開していきます。また、環境美化活動・環境教育を通じて社員一人一人がエコ意識を高め活動し、更なる環境への貢献を目指します。

2023年8月1日

代表取締役社長 飯倉清博

富山県SDGs宣言



株式会社やぶうち商会はSDGsの達成のため、以下について取り組むことを宣言します。

1962年創業、塗料関連事業の商社として60年になります。塗料販売事業と塗料調合事業を中心に、塗装プラント企画管理事業、マーキングフィルム事業、遮熱・断熱事業、環境事業、化粧品製造・販売事業を展開し、お客様に感謝されるサービスに取り組んでおります。子供たちの未来にきれいな地球を残せるよう、環境問題を意識し、大気や川の汚染を引き起こす物質を使わないようにする工夫と環境にやさしいリサイクルを活用したシステムづくりを目指します。具体的にはCO2排出量の削減、PRTR対象物質の削減、産業廃棄物排出量の削減に取り組めます。

No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	<p>【目標】 環境問題を意識するための、CO2排出量の削減。前年度比使用量1%減を目指す。</p> <p>【主な取組み】 エコドライブの実践と省エネ活動に取り組む。CO2 ガス排出量の削減のために石化燃料(軽油、ガソリン)及び電気使用量の削減に取り組めます。</p>	
2	<p>【目標】 PRTR対象物質の削減、前年度の排出量1%減を目指す。</p> <p>【主な取組み】 PRTR対象物質の削減で汚染対策に取り組む。</p>	
3	<p>【目標】 産業廃棄物の前年度の排出量1%減を目指す。</p> <p>【主な取組み】 産業廃棄物の削減または有効利用</p>	

2022年 7月 2日

企業・団体名 株式会社やぶうち商会

代表者名 代表取締役 飯倉 清博